



2019年7月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年9月13日

上場会社名 株式会社鳥貴族

上場取引所

東

コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長

(氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

定時株主総会開催予定日 2019年10月24日

配当支払開始予定日

2019年10月25日

有価証券報告書提出予定日 2019年10月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期の業績(2018年8月1日～2019年7月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期	35,847	5.5	1,190	29.2	1,145	29.0	286	—
2018年7月期	33,978	15.8	1,681	15.4	1,613	13.1	662	31.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年7月期	24.69	—	4.3	6.4	3.3
2018年7月期	57.15	—	10.0	9.3	5.0

(参考) 持分法投資損益 2019年7月期 ー百万円 2018年7月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期	17,127	6,523	38.1	562.98
2018年7月期	18,789	6,902	36.7	595.71

(参考) 自己資本 2019年7月期 6,523百万円 2018年7月期 6,902百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年7月期	2,171	1,331	1,143	4,190
2018年7月期	3,306	3,460	87	4,494

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年7月期	—	4.00	—	4.00	8.00	92	14.0	1.4
2019年7月期	—	4.00	—	4.00	8.00	92	—	1.4
2020年7月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00		20.4	

3. 2020年7月期の業績予想(2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,403	2.5	847	136.0	823	142.0	469	775.1	40.48
通期	34,605	3.5	1,309	10.0	1,264	10.4	454	—	39.24

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年7月期	11,622,300 株	2018年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	2019年7月期	34,738 株	2018年7月期	34,700 株
期中平均株式数	2019年7月期	11,587,566 株	2018年7月期	11,587,600 株

(注)当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。